

「2007年度防災教育チャレンジプラン」

# ESD教材としての防災教育プログラムの開発

—自然災害に対する行動力を持った高校生の育成を目指して—



静岡県立御殿場南高等学校地学教室

# 国連持続可能な開発のための 教育 (ESD) の10年 2005-2014

あらゆる人々が、地球の持続可能性を脅かす  
諸問題に対して、計画を立て、取り組み、  
解決方法を見つけるための教育

# ESDとの関連性

わが国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画  
「持続可能な開発のための教育の実施の指針」より

## (1) 地域づくりへと発展する取り組み

地域特性を踏まえた実践。

子どもの参画を重視しつつ、既存の多様な活動を発展させる

## (4) 学び方・教え方

学ぶ側の意見を取り入れつつ、

参加型アプローチを重視して、具体的行動を促す。

## (5) 育みたい力

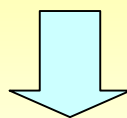
体系的思考、批判力と代替案の思考力、  
コミュニケーション能力等。

## (6) 多様な主体との連携、協働

コーディネート能力、プロデュース能力が必要。

教育関係組織、社会福祉協議会、NPO等が教育現場と地域をつなぐ。

# 地域に根ざした学習プログラムの作成・実践



自然環境及び防災に対する認識や  
行動力を持つ高校生の育成

地域

参加型

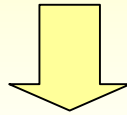
学んだことを地域に発信し、  
地域の方々や行政、専門家と共有する

情報発信型

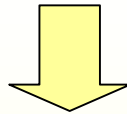
連携

① 過去の自然災害を知る

② 自然現象のメカニズムを理解する



③ 高校生にできることを実践する



④ 富士山宝永噴火300年記念行事に参加し、成果発表をする

⑤ 地域、行政、専門家と連携して防災講座を開講する

# 連携した団体

- ①御殿場市防災対策室
- ②新橋区自治会
- ③静岡大学教育学部
- ④静岡県防災局
- ⑤(財)砂防・地すべり技術センター
- ⑥国土交通省富士砂防事務所
- ⑦富士宮市防災危機管理課
- ⑧気象庁静岡地方気象台

黒字: 地域を教材にするため

緑字: 環富士山火山防災シンポジウム関連

# 働きかけ

## 地域

- ・新橋区自治会
- ・御殿場市役所

## 保護者等

- ・PTA
- ・後援会
- ・学校評議員

## 教育機関

- ・静岡県教育委員会
- ・御殿場市教育委員会
- ・近隣の中学校

## マスコミ

- ・県内マスコミ30数社  
(県庁プレス経由・  
電話連絡)

# 実践したプログラム

## ■地震分野■

### 1. 教科書の内容

時間数	題材とその内容	観点
1	地震の基礎知識	地
2	地震はなぜ発生するのか	
3	震源の決定	
4	地震はどこで起こるのか	
5	地震に伴う現象	参
6	(ゆれ、津波、液状化)	

赤字: 実習、実験をした授業

緑字: 視聴覚教材を用いた授業

### 2. 東海地震に備えて

時間数	題材とその内容	観点
7	大地震発生時の行動	参
8	身のまわりの地震対策① -御殿場市の地震対策-	連 コ
9	私たちにできること	地
10	身のまわりの地震対策② -避難所としての学校-	連 コ
11	単元のまとめ	



# ■火山分野■

## 0. 導入

時間数	題材とその内容	観点
1～3	映画「ダンテズ・ピーク」の視聴(解説つき)	
4	映画のまとめと疑問点の共有	参 コ

## 1. 教科書の内容

5～7	火山の噴火と災害	参
	火山の性質	参
8	火山の分布	
9	日本の火山とその恵み	参

## 2. 富士山と生きるために

時間数	題材とその内容	観点
10	富士山の地形と火山活動の関係	地 参
11	富士山と世界遺産	地
12	火山と国立公園	コ
13	富士山ハザードマップと防災	連 コ
14		
15	単元のまとめ	

赤字: 実習、実験をした授業

緑字: 視聴覚教材を用いた授業

## ■ 気象分野 ■

時間数	題材とその内容	観点
1	集中豪雨と台風	地
2	気象災害に備えて	
3	土砂災害を知る	

## ■ 行動編(授業内) ■

時間数	題材とその内容	観点
1～3	防災マップの作成 改善点を探そう	参連 コ
4～6	シンポジウム・防災講座に向けて	参 コ

## ■ 行動編(授業外) ■

日時	題材とその内容	観点
11/25	環富士山火山防災 シンポジウムへの参加 ★生徒研究発表(3件)	コ 連 地
12/2	南高防災講座～火山編～ の開催 (自治会、県、大学との連携)	コ 連 参
12/10-16	宝永噴火・富士山資料展 での展示 (御殿場市との連携)	連 コ 地

赤字: 実習、実験をした授業

緑字: 視聴覚教材を用いた授業



# ■ 行動編③ ■ 南高防災講座の開講 (12/2)

## 1. 高校生による学習の成果発表



## 2. ハザードマップ読取実習

講師: 小山真人教授 (静岡大学)



## 3. 静岡県の火山対策

講師: 藤田和久氏  
(静岡県防災局)



# 生徒の感想

- ・人生に必要なことを学べた。
- ・教えてもらうだけでなく、自分たちで発見したり、考えたりできて、楽しく充実したプログラムだった。
- ・やっぱり興味を持って楽しく取り組むことで授業の内容が頭に入るんだと実感した。
- ・シンポジウムでの発表が心に残った。
- ・もっとたくさんの人に知識を持って欲しい。
- ・私たちは地域から期待されているのだ。  
みんなで力を合わせて自然災害を理解し、被害を最小限に食い止めたい。

# 成果

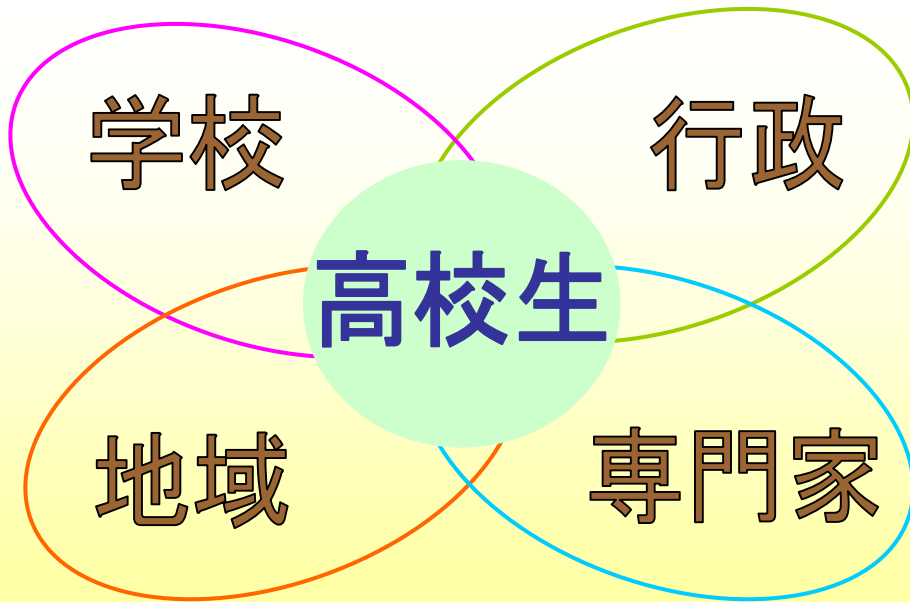
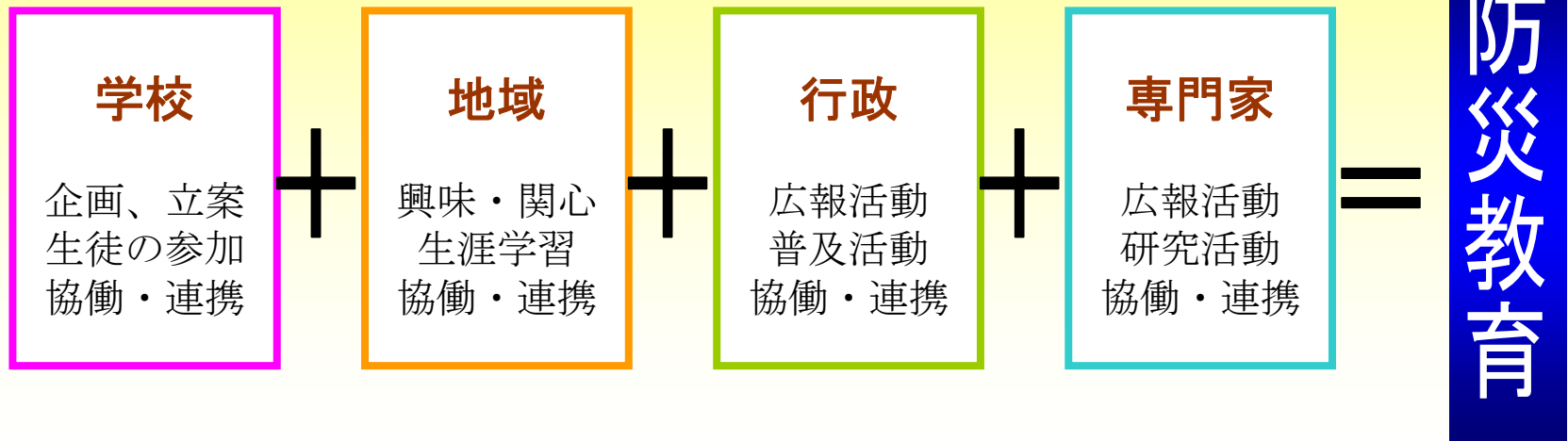
- ・学習プログラム
- ・授業用ワークシート
- ・オリジナル実験、実習
- ・発表用学習のまとめ
- ・地域、行政、大学・・・とのつながり
- ・校内、地域の理解



防災の知識と意識を持った高校生



# プログラムの評価



# 今後の課題

- ・気象分野の充実を図る
- ・南高防災講座の回数を増やす
- ・行政や大学との連携を強化する
- ・最新の研究成果を扱い機会を増やす
- ・汎用性を高める

ご清聴ありがとうございました。



ご意見・ご質問をお願い致します。